安全データシート
cOmplete His-Tag Purification Column

1. 化学品及び会社情報

商品名:	cOmplete His-Tag Purification Column
製品番号:	06781535001 / 06781543001
会社名:	ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社 〒1050014 東京都港区芝2-6-1
電話番号:	03-5443-5128
ＦＡＸ番号:	03-5443-5299
担当部門:	生産・物流・信頼性保証・薬事部門 品質保証グループ
緊急連絡先:	AS事業部 サイエンティフィックサポート部　03-5443-5287

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体	:	区分3
眼刺激性	:	区分2B
皮膚感作性	:	区分1
生殖細胞変異原性	:	区分1B
発がん性	:	区分2
生殖毒性	:	区分1A
特定標的臓器毒性，単回ばく露	:	区分3 (気道刺激性, 麻酔作用)
特定標的臓器毒性，反復ばく露	:	区分1 (肝臓)
特定標的臓器毒性，反復ばく露	:	区分2 (中枢神経系)

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル :

注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 :
H226 引火性液体及び蒸気
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H320 眼刺激
H335 呼吸器への刺激のおそれ
H336 眠気又はめまいのおそれ
H340 遺伝性疾患のおそれ

H351 発がんのおそれの疑い
H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
H372 長期にわたる、または反復暴露による臓器（肝臓，中枢神経系）の障害。

注意書き : **予防策:**
P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P210 熱/火花/裸火/高温のも ののような着火源から遠ざけること。一禁煙。
P233 容器を密閉しておくこと。
P240 容器を接地すること/アースをとること。
P241 防爆型の電気機器/ 換気装置/ 照明機器 機器を使用すること。
P242 火花を発生させない工具を使用すること。
P243 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
P264 取り扱い後は皮膚をよく洗うこと。
P270 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P272 汚染された作業衣は作業場 から出さないこと。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
応急措置:
P303 + P361 + P353 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
P304 + P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し，呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間 注意深く洗うこと。次にコン タクトレンズを着用してい て容易に外せる場合は外す と。その後も洗浄を続ける こと。
P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
P333 + P313 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P337 + P313 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ，再使用する場合には洗濯をすること。
P370 + P378 火災の場合：消火するために乾燥砂 ，粉末消火剤（ドライケミカル）または耐アルコール性フォームを使用すること。
保管:
P403 + P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P403 + P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに

置くこと。
P405 施錠して保管すること。
廃棄:
P501 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

重要な徴候及び想定される非常事態の概要　：　情報無し。

3．組成及び成分情報

3.2 混合物

危険有害成分

化学名	CAS番号	ENCS-番号	濃度又は濃度範囲 [%]
エタノール	64-17-5	2-202	>= 20 - < 30
Nickel complex		2-1266	

4．応急措置

吸入した場合　：　新鮮な空気のある場所に移動する。
意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。

皮膚に付着した場合　：　皮膚に付いた場合水で十分にすすぐ。
衣服に付いた場合、衣服を脱ぐ。

眼に入った場合　：　念のため水で眼を洗浄する。
コンタクトレンズをはずす。
損傷していない眼を保護する。
洗浄中は眼を大きく開ける。
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。

飲み込んだ場合　：　気道を確保する。
ミルクやアルコール飲料を与えない。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
直ちに被災者を病院に連れて行く。

急性症状及び遅発症状の最も重要な徴候症状　：　情報無し。

応急措置をする者の保護　：　危険域から避難させる。

この安全データシートを担当医に見せる。
被災者を一人にしない。

医師に対する特別な注意事項 : 救急医療手順は、産業医療に責任のある医師に相談して設定すべきである。

5．火災時の措置

消火剤 : 耐アルコール泡消火剤
二酸化炭素（CO2）
粉末消火剤

使ってはならない消火剤 : 棒状注水

特有の危険有害性 : 火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。

有害燃焼副産物 : 情報無し。
特定の消火方法 : 汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。
火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。
火災時の安全上の理由から、缶をそれぞれ別々に保管する
密閉容器を水スプレーで完全に冷却する。

消火を行う者の保護 : 必要に応じて自給式呼吸装置を装着する。

6．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 保護具を使用する。
付近の発火源となるものを速やかに取り除く。
安全な場所に避難する。
項目７および８に記載した保護措置を参照する。
蒸気がたまると爆発性濃縮物が生成されるので要注意。蒸気は低いところにたまる可能性あり。

環境に対する注意事項 : 製品を排水施設に流してはならない。
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 漏出物を閉じ込め、不燃性の吸収剤（砂、土、珪藻土、バーミキュライト等）を使用して集め、地域/国家の規則に従い廃

棄するために容器に入れる（項目 13 を参照)。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 火炎や白熱物質に向けてスプレーしてはいけない。
静電気放電（有機物の蒸気を発火させる場合あり）を防止するために必要な処置をとる。
炎、熱および発火源から遠ざける。

安全取扱注意事項 : エアゾールの発生を避けること。
蒸気/粉塵を吸い込まない。
曝露を避けるー使用前に特別指示を受ける。
皮膚や眼への接触を避けること。
個人保護については項目 8 を参照する。
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
静電気放電に対して予防処置手段をとります。
作業室の換気や排気を十分に行う。
内部が陽圧になっていることがあるので、ふたを開ける場合には、慎重に行う。
洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。
皮膚感作性並びに喘息、アレルギー、慢性または反復性の呼吸器疾病を有する人は、この製剤を使用するすべての工程に従事しないことが望ましい。

接触回避 : データなし

保管

安全な保管条件 : 禁煙。
容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。
一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためまっすぐ立てておく。
ラベルの予防措置を遵守する。
電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。

混触禁止物質 : データなし

8. ばく露防止及び保護措置

成分別作業環境管理濃度/許容濃度

成分	CAS番号	価値 (暴露形態)	管理濃度 / 許容濃度	基準
Nickel complex		TWA	0.1 mg/m3	安衛法（管理濃度、基準濃度)
				日本産業衛生学会
詳細情報:	当該物質自体ないしその化合物を示すが，感作性に関与するすべての物質が同定されているわけではない「第 1」はヒトに対して発がん性があると判断できる物質である．この群に分類される物質は，疫学研究からの十分な証拠がある			

保護具

呼吸用保護具 : 蒸気を形成する場合は、許可されたフィルターの付いた呼吸装置を使用する。

手の保護具
品名 : 保護手袋

所見 : 選ばれた防護手袋は、EU指令89/686/EECの仕様と、それから派生する規格EN374を満たすものでなければならない。 この推薦は、安全データシートで言及されていて、当社が指定した適用法のために、当社が供給した製品にのみ有効。 手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。 ある特定の作業場の適正度は、防護手袋製造者との相談で決定すべきである。

眼の保護具 : 純水入りの眼洗浄ボトル
密着性の高い安全ゴーグル

皮膚及び身体の保護具 : 不浸透性衣服
作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選択する。

適切な衛生対策 : 使用中は飲食しないこと。
使用中は禁煙。
休憩前や終業時には手を洗う。

9．物理的及び化学的性質

外観	: 懸濁
色	: 薄い青色
臭い	: アルコール臭
融点・凝固点	: データなし
沸点，初留点及び沸騰範囲	: データなし
引火点	: 34 °C
爆発範囲の上限	: データなし
爆発範囲の下限	: データなし
蒸気圧	: データなし
溶解度	
水溶性	: 不溶
n-オクタノール／水分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: 過熱により、発火する可能性のある蒸気が発生する恐れがある。
粘性、動的	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。
化学的安定性	: 通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	: 指示通り保管/適用すれば分解しない。 蒸気は空気と爆発性混合物を生成することがある。
避けるべき条件	: データなし 熱、炎、火花。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし

11. 有害性情報

製品

急性経口毒性	:	データなし
急性吸入毒性	:	データなし
急性経皮毒性	:	データなし
急性毒性（その他の経路）	:	データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	:	皮膚に刺激/皮膚炎を起すことがある。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	:	蒸気は、目、呼吸器系および皮膚に刺激を与える可能性がある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	:	感作を起こす。
吸引性呼吸器有害性	:	データなし
詳細情報	:	溶剤は皮膚を脱脂することがある。
	:	本製品に関する毒性データは、十分なものではない。，その他の危険な特徴を除外してはならない。

成分:

エタノール :

急性経口毒性	:	LD50 ラット: 7,000 mg/kg
		LD50 マウス: 3,450 mg/kg
急性吸入毒性	:	LC50 ラット: 20000 ppm 曝露時間: 10 h
		LC50 マウス: 39 g/m3 曝露時間: 4 h
急性経皮毒性	:	データなし
急性毒性（その他の経路）	:	データなし

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	:	この情報は入手できない。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	:	この情報は入手できない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	:	結果: データなし
特定標的臓器毒性，単回ばく露	:	アセスメント: この物質または混合物は、特定標的臓器毒、単回暴露に分類されない。
特定標的臓器毒性，反復ばく露	:	アセスメント: この物質または混合物は、特定標的臓器毒、反復暴露に分類されない。
吸引性呼吸器有害性	:	データなし
詳細情報	:	データなし

Nickel complex :

急性経口毒性	:	データなし
急性吸入毒性	:	データなし
急性経皮毒性	:	データなし
急性毒性（その他の経路）	:	データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	:	この情報は入手できない。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	:	この情報は入手できない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	:	分類: 皮膚に触れると感作を起すことがある。
発がん性 - アセスメント	:	発癌性効果の証拠に乏しい。
特定標的臓器毒性，単回ばく露	:	アセスメント: この物質または混合物は、特定標的臓器毒、単回暴露に分類されない。
特定標的臓器毒性，反復ばく露	:	アセスメント: この物質または混合物は、特定標的臓器毒、反復暴露に分類されない。
吸引性呼吸器有害性	:	データなし

詳細情報 : 本製品に関する毒性データは、十分なものではない。その他の危険な特徴を除外してはならない。

12. 環境影響情報

生態毒性

製品:

魚毒性 : データなし

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : データなし

藻類に対する毒性 : データなし

バクテリアに有毒 : データなし

環境毒性アセスメント

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

成分:

エタノール :

魚毒性 : LC50 (ゴールデンオーフ): 8,000 mg/l
曝露時間: 48 h

LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 7,100 mg/l
方法: OECD 試験ガイドライン 203

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 5,400 mg/l
曝露時間: 48 h

藻類に対する毒性 : EC0 (Scenedesmus quadricauda): 5,000 mg/l
曝露時間: 7 d

バクテリアに有毒 : EC0 (Pseudomonas putida): 6,500 mg/l
曝露時間: 16 h

環境毒性アセスメント

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

Nickel complex :

魚毒性	: データなし
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性	: データなし
藻類に対する毒性	: データなし
バクテリアに有毒	: データなし

環境毒性アセスメント

土壌の毒性データ	: 土壌に吸着するとは考えられていない。
環境に関係する他の生物	: データなし

残留性・分解性

製品:

生分解性	: データなし
生化学的酸素要求量（BOD）	: データなし
溶存有機炭素（DOC）	: データなし
化学的酸素要求量（COD）	: データなし
物理化学的除去性	: データなし

残留性・分解性

成分:

エタノール :

生分解性	: データなし
生化学的酸素要求量（BOD）	: データなし
溶存有機炭素（DOC）	: データなし
化学的酸素要求量（COD）	: データなし
物理化学的除去性	: データなし

Nickel complex :

生分解性	: データなし
生化学的酸素要求量（BOD）	: データなし

溶存有機炭素（DOC）　: データなし

化学的酸素要求量（COD）　: データなし

物理化学的除去性　: データなし

生体蓄積性

製品:

生体蓄積性　: データなし

n-オクタノール／水分配係数　: データなし

生体蓄積性

成分:

エタノール :

生体蓄積性　: データなし

n-オクタノール／水分配係数　: データなし

Nickel complex :

生体蓄積性　: データなし

n-オクタノール／水分配係数　: データなし

土壌中の移動性

製品:

移動性　: データなし
表面張力　: データなし
環境中の分布　: データなし

土壌中の移動性

成分:

エタノール :

移動性　: データなし
表面張力　: データなし
環境中の分布　: データなし

Nickel complex :

移動性　: データなし
表面張力　: データなし
環境中の分布　: データなし

PBT および vPvB の評価結果

製品:

アセスメント　: 当物質は残留性、生物蓄積性、毒性(PBT)であるとは考えられていない。当物質は高残留性および高生物蓄積性(vPvB)であるとは見なされない。

PBT および vPvB の評価結果

成分:
エタノール :

アセスメント	: 当物質は残留性、生物蓄積性、毒性(PBT)であるとは考えられていない。当物質は高残留性および高生物蓄積性(vPvB)であるとは見なされない。

Nickel complex :

アセスメント	: 当物質は残留性、生物蓄積性、毒性(PBT)であるとは考えられていない。当物質は高残留性および高生物蓄積性(vPvB)であるとは見なされない。

他の有害影響

製品:

環境中での化学物質の行方および経路	: データなし
吸収された有機結合ハロゲン(AOX)	: データなし
オゾン層への有害性	
生態系に関する追加情報	: データなし

他の有害影響

成分:
エタノール :

環境中での化学物質の行方および経路	: データなし
吸収された有機結合ハロゲン(AOX)	: データなし
オゾン層への有害性	

Nickel complex :

環境中での化学物質の行方および経路	: データなし
吸収された有機結合ハロゲン(AOX)	: データなし
オゾン層への有害性	

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物	: 薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。 認可された廃棄物処理業者へ委託する。
汚染容器及び包装	: 残りの容器を空にする 未使用製品として処分する。

空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。
空の容器を再使用しない。
空のドラムを燃やしたり、切断トーチを使用しないこと

14. 輸送上の注意

国際規制

IATA
非危険物

IMDG
非危険物

ADR/RID, ADNR, IMDG コード, ICAO/IATA-DGR の意味における非危険物

国内法規制

特定の国の規則は項目 15 を参照する。

15. 適用法令

国内適用法令消防法

非該当

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質は該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物
非該当
製造の許可を受けるべき有害物
非該当
がん原性に物質
非該当
変異原性の認められた化学物質
非該当
変異原性が認められた化学物質の取扱いについて - 別紙１： 変異原性が認められた届出物質に関する情報一覧
非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法規区分名	適用条件
名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第５７条の２、施行令第１８条の２別表第９）【４１８　ニッケル及びその化合物】	０．１重量%以上を含有する製剤その他のもの（令別表９第６３４号、労働安全衛生規則第３４条の２・別表第２の２）
名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第５７条の２、施行令第１８条の２別表第９）【６１　エタノール】	０．１重量%以上を含有する製剤その他のもの（令別表９第６３４号、労働安全衛生規則第３４条の２・別表第２の２）

名称等を表示すべき危険物及び有害物
非該当

特定化学物質障害予防規則 - 第二類物質

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一 (危険物)

引火性の物

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

特定第1種指定化学物質

化学名	番号	濃度又は濃度範囲 (%)
ニッケル化合物	309	1.8

廃棄物の処理及び清掃に関する法律
特別管理産業廃棄物

16. その他の情報

詳細情報

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等を、安全に行っていただくために作成されたものです。 記載されている情報はいかなる保証もするものではありませんし、品質を特定するものでもありません。また、このMSDSのﾃﾞｰﾀはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料との組み合わせ使用に関しては有効ではありません。